

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-12 道路維持補修事業 □支援部門				タイムスコード及び個別事業名	
	331(経常)		崩落土砂処分等業務委託			
主管課	道路整備課	関連課	作業センター		"	
分野名	道路整備				"	
目標 (目標値)	道路の良好な維持・管理					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	133,288千円	129,743千円			
	(国・県)			指標と評価		
	(負担金等)			指標		
	(一般財源)	133,288千円	129,743千円	評価		
	人員配置数	1.4人	0.9人	◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	12,897千円	8,440千円	目標値		
	協働の パートナー			実績値		
事務事業 運営経費	総事業費	146,185千円	138,183千円	20年度		
	市民1人当 りの経費	827円	783円	21年度		
	対象者1人 当りの経費			22年度		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名			23年度		
				最終年度 ( 年度)		
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・市域全域の道路及び道路施設は、整備後、相当の年数が経過しており、その補修要望の内容も幅 広く、件数も多く、その対応に苦慮している。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・補修要望の内容及び状況に応じて、作業センターとの連携を図ったことにより、有効かつ効率的な 対処ができた。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・要望の箇所の増加及び内容が多岐にわたることや抜本的な改修を必要とする箇所の要望も多いこ とから、当該年度内での対応が難しく、次年度以降の対応とせざるを得ない要望も多数あった。ま た、これまでに累積されている要望についても処理できないものもあった。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・道路及び道路施設の調査を行い、維持補修の優先順位をつけ、計画的に実施する。 ・作業センターとの連携をよりいっそう強化するとともに、要望内容の精査を行い、より有効かつ効 率的な対応を図って行く。				
一次評価(課長評価)			二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	評価結果			改善の必要性	
A	有	A			有	
課長名		道路整備課長 舘下優三		部名・部長名		都市整備部 山内廣行